

事務事業ID		2451		令和04年度 事務事業マネジメントシート		部長	課長	係長	担当者
事務事業名		霊山高原構想推進事業				担当課	未来政策部霊山総合支所		
政策体系	政策	2	豊かな心を育むまちづくり			担当係	地域総務係		
	施策	3	心を育む生涯学習の推進			事業期間	平成27年度 ~ 令和4年度		
	基本事業	1	学習機会の充実と成果の活用			事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業
予算科目		会計	款	項	目	大 事 業		実施形態	指定管理
		一般会計	2	1	8	霊山高原構想推進事業			

PLAN (計画)

目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる。						
		基本事業の目的	自発的学習活動する市民の増加を図るとともに、その成果をより良い地域社会づくりに活かせるよう、地域自治組織等関係団体との連携強化に努めます。また、市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、事業の充実に努めます。さらに、子どもから大人まですべての市民が読書に親しめるよう、多様な読書活動の支援に努めます。						
	中間	①対象 (誰、何に対して行うか)	子供達や子育て世代	①意図 (どのようになることを目指すか)	霊山高原地域の魅力を発信し、交流人口の拡大や新たな利用者の増加を図る				
	初期	②①になるために必要な状態	霊山子どもの村の施設等のリニューアル整備し、令和4年の開園50周年記念にリニューアルオープンする。						

区分	指標名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
				アウトカム指標	来園者数	人	目標値	21,000	21,000
			実績値	29,224	29,795	27,896	17,957	24,151	30,316
			目標値						
			実績値						
			目標値						
			実績値						

DO (実施)

活動・アウトプット	事業概要	霊山こどもの村リニューアルに伴うミュージアムの改修工事費にかかる予算要求を行った。	
	主な活動	令和04年度実績 (実施した主な活動) 霊山こどもの村ミュージアムの改修工事を行った。 ・主な工事 1階 展示室建具改修、収蔵庫結露防止工事等 2階 児童コーナー空調換気設備・照明改修等 屋外 屋外アプローチ工事	

現状把握

現状・インプット	事務事業を開始した理由		市の方針として、令和元年の台風被害の復旧を優先するため、当事業は令和2年度休止としていたが、令和元年末に「霊山こどもの村リニューアル基本設計説明書」が完成し、具体的な事業期間を精査した結果、休憩施設の新設・工事に少なくとも1年半程度の期間が必要なことから、令和4年の開園50周年に向けた主な取り組みを実現するため新市建設事業休止を解除し事業を再開した。						
	根拠法令・要綱等		関連する個別計画						
	事務事業の現状 (「対象」など事業開始からの変化)		当初、「こどもの物語ミュージアム」建設を予定していたが、こどもの村にかかるリニューアル事業 (看板更新、休憩施設新設、大型遊具改修及びジャンボ滑り台研ぎ出し、ミュージアム前広場改修等) に変更となった。						
	事業費	財源内訳	年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
国庫支出金			千円				0	0	0
都道府県支出金			千円				0	0	0
地方債			千円				0	0	11,800
その他	千円				3,600	227,300	685		
一般財源	千円				1,828	15,812	0		
事業費計	千円				5,428	243,112	12,485		

事務事業 ID	2451	事務事業名	霊山高原構想推進事業	所属課	未来政策部霊山総合支所
---------	------	-------	------------	-----	-------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への進捗度)	霊山こどもの村をリニューアルする。 リニューアル事業の最終年度として、ミュージアム改修を予定通り実施した。
課題	霊山こどもの村のリニューアルが今年度で完了したことから、「霊山こどもの村」や「名峰霊山」などの霊山地域の魅力を発信し、交流人口の拡大や新たな利用者の増加を図ること。
対策	霊山こどもの村は、開園50周年の節目を迎え、ハード面のリニューアルが完了した。今後は魅力的な交流拠点として、利用者がまた来たいといった施設となるようワークショップ等のソフト面が充実した施設を目指す必要がある。

【評価結果】

総合評価	廃止	今後の事業全体の方向性やその内容	事業の目的が達成したことから、今後は交流人口の拡大や新たな利用者の増加を図っていく。
------	----	------------------	--

事務事業ID	2183	令和04年度	事務事業マネジメントシート	部長	課長	係長	担当者
--------	------	--------	---------------	----	----	----	-----

事務事業名	学校支援地域連携推進事業			担当課	教育委員会教育部生涯学習課		
政策体系	政策	2	豊かな心を育むまちづくり	担当係	生涯学習係		
	施策	3	心を育む生涯学習の推進	事業期間	～		
	基本事業	1	学習機会の充実と成果の活用		事業区分	市単独事業・国県補助事業	国県補助事業
予算科目	会計	款	項	目	実施形態	一部委託	
	一般会計	10	5	1	大事業	地域の教育力向上事業費	

【PLAN (計画)】

目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる		
	最終	基本事業の目的	自発的学習活動する市民の増加を図るとともに、その成果をより良い地域社会づくりに活かせるよう、地域自治組織等関係団体との連携強化に努めます。また、市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、事業の充実に努めます。さらに、子どもから大人まですべての市民が読書に親しめるよう、多様な読書活動の支援に努めます。		
	中間	①対象 (誰、何に対して行うか)	市民・子ども	①意図 (どのようになることを目指すか)	将来的に学校を中心とした地域の大人の活動が、子どもを支え地域をつくる。
	初期	②①になるために必要な状態	市民が学校を利用し、子供と一緒に活動するスクールコミュニティのボランティアとして地域コーディネーター及び支援スタッフの活動を支援している。		

区分	指標名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
指標	アウトプット指標	スクールコミュニティ 設置数	団体	目標値	2	2	2	3	3	4
				実績値	2	2	2	3	3	3
指標	アウトプット指標	センター利用者数	人	目標値	300	300	600	1,300	1,500	1,500
				実績値	409	556	1,110	630	483	1,502
				目標値						
				実績値						

【DO (実施)】

活動概要・アウトプット	事業概要	地域住民による学校支援や学校施設の地域開放、学校施設を利用した住民の学びや交流を進めるために、活動の拠点となる「スクールコミュニティセンター」に地域コーディネーターを配置し地域の教育力向上を図る。
	主な活動	<p>令和04年度実績 (実施した主な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保原スクールコミュニティ (学習支援、教育環境支援、子ども祭支援、情報支援、学校施設利用) ○梁川スクールコミュニティ (授業支援、放課後体験活動、外国語支援活動、見守り隊等の活動) ○月館スクールコミュニティ (環境整備、教育活動、安全確保、放課後活動、提案事業等) ○霊山スクールコミュニティ (令和5年度の霊山スクールコミュニティの設置に向けて「霊山スクールコミュニティ設立準備委員会」を開催し2回の会議を実施した。)

【現状把握】

現状・インプット	事務事業を開始した理由	平成24年度に小学校区単位の地域コミュニティ形成と地域活性化の観点から保原小学校を建設。実現の手段として「スクールコミュニティ」を立案。							
	根拠法令・要綱等	関連する個別計画							
	事務事業の現状 (「対象」など事業開始からの変化)	平成24年度から事業をスタートした保原小学校では、地域コーディネーターと運営協議会を中心に「子ども祭り」等の事業を展開。婦人会や商工会、若連など地域の団体の協力を得、少しずつ連携・認識が広がっている。 梁川小学校では、平成27年度より事業がスタート。平成31年度に月館スクールコミュニティ準備室を設立し、地域コーディネーターと学校を支援するサポーターを中心に事業を展開している。							
	事業内訳	年度単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (実績)	
事業内訳	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	5,115
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	6,976	12,208	15,262	11,242	12,589	19,424
	事業費計	千円	6,976	12,208	15,262	11,242	16,657	24,539	

事務事業 ID	2183	事務事業名	学校支援地域連携推進事業	所属課	教育委員会教育部生涯学習課
---------	------	-------	--------------	-----	---------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への進捗度)	月舘、保原、梁川のスクールコミュニティは、新型コロナウイルスの感染防止のため、例年の活動を縮小せざるをえなくなったが、後半は感染症対策を講じながら活動を実施した。令和5年度設置予定の霊山スクールコミュニティについては設立準備委員会を組織しスクールコミュニティに対する理解を深めた。
課題	既存の3つのスクールコミュニティの連携が希薄でありスクールコミュニティの目的理解にばらつきがあり情報共有ができていない。 コロナ禍における教育支援活動を学校と地域の理解を得ながらどのように実施していくか検討しなければならない。
対策	コロナ禍にあってもスクールコミュニティ間の情報共有が図られるよう打ち合わせ会を実施し、情報共有を行い、優事例の発表や研修を行い理解を深めていく。 本市の新型コロナウイルス感染防止のための方針を基準に、スクールコミュニティ運営委員会などにおいて、活動の可否を検討していくようにする。

【評価結果】

総合評価	維持	今後の事業全体の方向性やその内容	学校を核とした地域の活性(地域づくり)に繋げてきている。スクールコミュニティ地域コーディネーターの職務遂行にあたり、地域と学校の間に入り、連絡調整が円滑にできるよう、適宜アドバイスを行っている。
------	----	------------------	---

事務事業ID 1359	令和04年度 事務事業マネジメントシート	部長	課長	係長	担当者

事務事業名		二十歳のつどい開催事業			担当課	教育委員会教育部生涯学習課				
政策体系	政策	2	豊かな心を育むまちづくり			担当係	生涯学習スポーツ係			
	施策	3	心を育む生涯学習の推進			事業期間	～			
	基本事業	1	学習機会の充実と成果の活用				事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業
予算科目		会計	款	項	目	大事業				
		一般会計	10	5	1	成人式開催事業費			実施形態	一部委託

【PLAN (計画)】

目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる		
		基本事業の目的	自発的学習活動する市民の増加を図るとともに、その成果をより良い地域社会づくりに活かせるよう、地域自治組織等関係団体との連携強化に努めます。また、市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、事業の充実に努めます。さらに、子どもから大人まですべての市民が読書に親しめるよう、多様な読書活動の支援に努めます。		
	中間	①対象 (誰、何に対して行うか)	当該年度に二十歳を迎える新成人	①意図 (どのようになることを目指すか)	大人になる自覚を持つ
	初期	②①になるために必要な状態	成人式に出席し激励されることで、大人になる自覚をもつことができる。		

区分	指標名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
				アウトプット指標	成人式 出席率	%	目標値	90	90
			実績値	84	86	79	-	77	73
アウトプット指標	成人式 出席人数	人	目標値	630	630	630	630	630	630
			実績値	535	560	510	-	483	425
			目標値						
			実績値						

【DO (実施)】

活動概要	事業概要	成人の日の前日に、伊達市の未来を担う新成人者の新たな門出を祝福する式典を開催している。
	主な活動	令和04年度実績 (実施した主な活動) 令和2年度成人式について、新型コロナウイルスの影響によりオンライン開催となったため、新成人代表者からの要望を受け、令和4年8月に実行委員会主催の成人者交流会を実施した。会場設営およびフォトスポット設置の業務委託、実行委員会による式典、自由交流および抽選会を行った。 令和4年度は成年年齢引き下げに伴い名称を「二十歳のつどい」に変更し、初となる市内1か所での式典を実施した。会場設営の業務委託、市役所駐車場からのシャトルバスの運行、式典の挙行、実行委員会による記念事業を実施した。 また、新たに成人となった18歳および19歳の市民に向けて、市長からのお祝いメッセージはがきを成人の日に合わせて送付した。 ※上記指標の実績値は令和5年1月8日二十歳のつどい分

【現状把握】

現状・インプット	事務事業を開始した理由	成人の日は、昭和23 (1948) 年に「1月15日は、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます日」とし法律で祝日に定められ、平成12 (2000) 年に制定されたハッピーマンデー法に基づき1月の第2月曜日に改正された。成人の日前後に式典を開催し激励することで、大人になった自覚をもってもらうため、事業を開始した。							
	根拠法令・要綱等	関連する個別計画							
	事務事業の現状 (「対象」など事業開始からの変化)	令和元年度までは旧町単位での開催であり、各総合支所が運営主体となり、各総合支所でも予算を確保していたが、令和2年度からは当初市内1カ所での開催を予定し、生涯学習課予算のみの対応になっている。							
	事業費	財源内訳	年度単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (実績)
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	1,306	0	
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	261	329	349	1,205	4,489	2,797	
	事業費計	千円	261	329	349	1,205	5,795	2,797	

事務事業 ID	1359	事務事業名	二十歳のつどい開催事業	所属課	教育委員会教育部生涯学習課
---------	------	-------	-------------	-----	---------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への進捗度)	市内1か所開催として、市長から成人者への式辞を述べ激励し、大人になった自覚を醸成することができた。また、成人者自ら記念事業を企画、運営することができた。
課題	より多くの市民に参加機会が与えられるよう、開催方法や会場設営について見直しが必要。
対策	関係各所と連携をとり、会場設営等について検討を行う。

【評価結果】

総合評価	維持	今後の事業全体の方向性やその内容	伊達市の未来を担う20歳の新たな門出を祝福するとともに大人としての自覚を促すため必要な事業である。成年年齢引き下げとなったが、今後も20歳を対象として実施する。
------	----	------------------	--

事務事業ID		1351		令和04年度		事務事業マネジメントシート		部長	課長	係長	担当者
事務事業名		生涯学習ボランティア活動支援センター運営事業		担当課	教育委員会教育部生涯学習課						
政策体系	政策	2	豊かな心を育むまちづくり		担当係	社会教育係					
	施策	3	心を育む生涯学習の推進		事業期間	～					
	基本事業	1	学習機会の充実と成果の活用			事業区分	市単独事業・国県補助事業			市単独事業	
予算科目		会計	款	項	目		大事業		実施形態		
		一般会計	10	5	1	生涯学習推進事業費		直営			

【PLAN (計画)】

目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる								
	最終	基本事業の目的	自発的学習活動する市民の増加を図るとともに、その成果をより良い地域社会づくりに活かせるよう、地域自治組織等関係団体との連携強化に努めます。また、市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、事業の充実に努めます。さらに、子どもから大人まですべての市民が読書に親しめるよう、多様な読書活動の支援に努めます。								
	中間	①対象 (誰、何に対して行うか)	市民	①意図 (どのようになることを目指すか)	学習の成果や体験、趣味などを地域に生かしボランティア指導者としての活動を通じて、生きがいを感じる。						
	初期	②①になるために必要な状態	市民自らが自発的に生涯学習に参加したり、ボランティア指導者として生涯学習人材バンクに登録し活動している。								

区分	指標名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
				活動指標	コーディネートによる講座等参加人数	人	目標値	15,000	15,000
実績値	21,935	19,117	13,343				1,757	1,999	2,446
活動指標	人材バンクボランティア数	人	目標値	140	145	130	130	130	130
			実績値	140	133	120	120	105	152
			目標値						
			実績値						

【DO (実施)】

活動概要	事業概要	市民の生涯学習、青少年の体験活動、ボランティア活動等の推進のため、情報収集や情報提供、相談業務を行い、市民の学習意欲に応えるために支援を行う。								
	主な活動	令和04年度実績 (実施した主な活動) 各地域自治組織等が行う講座や学習会の講師として活用が図られており、活動内容の充実に寄与している。しかし、令和4年度も、新型コロナウイルスの感染防止の為、講座や学習会の開催が激減した。								

【現状】

現状・インプット	事務事業を開始した理由	生涯学習への市民の関心が高まり、身近なところでの学習機会が必要となってきた。一方、学習の成果や体験、趣味などを地域に生かしたいと思う市民が増加している。こうした市民や団体の学習活動支援をコーディネートする事業が、平成14年度から国県補助事業として推進された。								
	根拠法令・要綱等	関連する個別計画								
	事務事業の現状 (「対象」など事業開始からの変化)	教育基本法や社会教育法の改正など、生涯学習の推進が図られている。年々生涯学習の指導者として活動したいという市民が増えている。市民の学習要求に十分な学習環境の整備が求められている。								
	事業内訳	年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度		
	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	2,173	2,462	2,430	2,305	2,494	2,339		
事業費計		千円	2,173	2,462	2,430	2,305	2,494	2,339		

事務事業 ID	1351	事務事業名	生涯学習ボランティア活動支援センター運営事業	所属課	教育委員会教育部生涯学習課
---------	------	-------	------------------------	-----	---------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への進捗度)	人材バンク登録者の高齢化が進んでいる。また、ボランティア活動分野の拡充や登録者の増員を進める必要がある。
課題	生涯学習人材バンク登録者の増加を図る。
対策	人材バンク制度の理解度を深める。 人材育成事業を展開する。

【評価結果】

総合評価	改善・見直し	今後の事業全体の方向性やその内容	生涯学習ボランティア活動支援センターの利用と登録者増加に向けて、事業PRと人材育成事業を展開する。
------	--------	------------------	---

事務事業ID		2381		令和04年度		事務事業マネジメントシート		部長	課長	係長	担当者
事務事業名		生涯学習指導員配置事業		担当課	教育委員会教育部生涯学習課						
政策体系	政策	2	豊かな心を育むまちづくり		担当係	社会教育係					
	施策	3	心を育む生涯学習の推進		事業期間	～					
	基本事業	1	学習機会の充実と成果の活用			事業区分	市単独事業・国県補助事業			国県補助事業	
予算科目		会計	款	項	目		大事業		実施形態		直営
		一般会計	10	5	1	生涯学習推進事業費					

【PLAN (計画)】

目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる								
		基本事業の目的	自発的学習活動する市民の増加を図るとともに、その成果をより良い地域社会づくりに活かせるよう、地域自治組織等関係団体との連携強化に努めます。また、市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、事業の充実に努めます。さらに、子どもから大人まですべての市民が読書に親しめるよう、多様な読書活動の支援に努めます。								
	中間	①対象 (誰、何に対して行うか)	おもに地域自治組織の生涯学習担当者、市民	①意図 (どのようになることを目指すか)	地域自治組織等の生涯学習担当者が指導助言を受けなくても自主的な取り組みができるようになること。また、市民が自主的に学ぶ活動ができるようにする。						
	初期	②①になるために必要な状態	各地区自治組織の中に生涯学習の中心的リーダーが存在し、市民が自主的に学ぶことができる講座等を開催している。								

区分	指標名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
指	アウトプット指標	リーダー研修参加者数	人	目標値	29	29	29	55	55	55
				実績値	28	29	53	48	21	22
標	活動指標	生涯学習指導員 配置数	人	目標値	6	6	5	5	4	4
				実績値	6	6	5	5	4	5
				目標値						
				実績値						

【DO (実施)】

活動・アウトプット	事業概要	生涯学習の特定分野について直接指導、学習相談、社会教育関係団体の育成等に当たるため、生涯学習指導員を配置する。
	主な活動	<p>令和04年度実績 (実施した主な活動)</p> <p>生涯学習指導員を各総合支所勤務とした。総合支所地域づくり担当職員と連携して、地域の生涯学習事業推進を強化した。</p> <p>リーダー研修会を、令和5年3月10日に白根弥平ふるさと館で開催した。モルテックなどのニュースポーツの実技体験行い、地域に持ち帰り各地域自治組織で開催できるよう研修会を開催した。</p>

【現状把握】

現状・インプット	事務事業を開始した理由	平成26年度公民館が交流館へ移行となり、各地区公民館で実施していた公民館事業が地域自治組織での自主的取り組みとなった。地域で行う事業の円滑な推進のため生涯学習指導員を設置し、指導助言に当たる。また、引き続き市民対象の講座等の開催を担当。(社会教育指導員配置事業を終了し、生涯学習指導員配置事業に事業変更)								
	根拠法令・要綱等			関連する個別計画						
	事務事業の現状 (「対象」など事業開始からの変化)	組織が立ち上がったばかりなので、ほとんどの組織が自主的な取り組みはできていない状況であるが、梁川地区においては旧公民館長・主事そのまま生涯学習担当者となっている場合が多い。しかし、ほかの地区においては生涯学習指導員に頼り切っているところもある。								
	事業費	財源内訳	年度単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (実績)	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	10,882	12,137	10,307	10,253	10,759	16,606		
	事業費計	千円	10,882	12,137	10,307	10,253	10,795	16,606		

事務事業 ID	2381	事務事業名	生涯学習指導員配置事業	所属課	教育委員会教育部生涯学習課
---------	------	-------	-------------	-----	---------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への進捗度)	地域自治組織が主体的に生涯学習事業を展開できる体制に差が生じている。
課題	地域自治組織の規模格差があり、人材、財源の差も生じている。 地域自治組織における「地域づくり計画書」を策定し、地域が目指す生涯学習計画が必要である。
対策	地域活動のリーダー育成のための研修会を充実させる。 地域づくり計画の策定支援を行う。

【評価結果】

総合評価	改善・見直し	今後の事業全体の方向性やその内容	地域自治組織が主体的に生涯学習事業を展開できる体制づくりを支援する。
------	--------	------------------	------------------------------------

事務事業ID 1352	令和04年度 事務事業マネジメントシート	部長	課長	係長	担当者

事務事業名		生涯学習推進事業			担当課	教育委員会教育部生涯学習課			
政策体系	政策	2	豊かな心を育むまちづくり			担当係	社会教育係		
	施策	3	心を育む生涯学習の推進			事業期間	平成18年度 ~		
	基本事業	1	学習機会の充実と成果の活用				市単独事業・国県補助事業		国県補助事業
予算科目		会計	款	項	目	大事業		事業区分	
		一般会計	10	5	1	生涯学習推進事業費		実施形態	直営

【PLAN (計画)】

目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる					
		基本事業の目的	自発的学習活動する市民の増加を図るとともに、その成果をより良い地域社会づくりに活かせるよう、地域自治組織等関係団体との連携強化に努めます。また、市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、事業の充実に努めます。さらに、子どもから大人まですべての市民が読書に親しめるよう、多様な読書活動の支援に努めます。					
	中間	①対象 (誰、何に対して行うか)	市民	①意図 (どのようになることを目指すか)	市民自ら社会教育や生涯学習のできる環境を整え、自主的に生涯学習や社会教育に取り組むことができる。すべての自治組織で自主的に活動ができるようになる。			
	初期	②①になるために必要な状態	生涯学習指導員等の助言により市民自らが、地域に暮らす人々の自主的な学びに取り組んでいる。					

区分	指標名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
				指標	活動指標	女性を対象とした事業 参加人数	人	目標値	2,500	2,500
実績値	2,496	2,452	2,569					1,666	1,006	355
活動指標	高齢者を対象とした事業 参加人数	人	目標値		3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700
			実績値		3,645	1,916	2,667	1,687	713	768
				目標値						
				実績値						

【DO (実施)】

活動概要・アウトプット	事業概要	生涯学習推進会議を開催し、生涯学習に係る諸施策を協議、推進する。また生涯学習推進計画の随時見直しを図る。また、各地域の旧公民館で行っていた各地区学級講座（高齢者学級、女性学級、市民学級）などの生涯学習事業にかかる経費などを負担する。					
	主な活動	令和04年度実績（実施した主な活動） 教育委員会主催の女性教育を4学級と高齢者学級を4学級開設し、学習機会の場の提供を行った。地域自治組織等が主催する学級の講師謝礼を支援した。					

【現状把握】

現状・インプット	事務事業を開始した理由	平成2年に施行された生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律を基本としている。平成26年度公民館が交流館へ移行となり、各地区公民館で実施していた公民館事業が地域自治組織での自主的取り組みとなった。							
	根拠法令・要綱等	関連する個別計画							
	事務事業の現状 (「対象」など事業開始からの変化)	地域自治組織が立ち上がった地域は、旧公民館事業を引き続き活動している。未組織の地域は教育委員会が主催している。市民はいずれかの活動に継続して参加している。							
	事業費	財源内訳	年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
単位			(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	
国庫支出金			千円	0	0	0	0	0	0
都道府県支出金			千円	0	0	0	0	0	0
地方債			千円	0	0	0	0	0	0
その他			千円	0	0	0	0	0	0
一般財源	千円	1,706	2,356	1,806	522	596	798		
事業費計	千円	1,706	2,356	1,806	522	596	798		

事務事業 ID	1352	事務事業名	生涯学習推進事業	所属課	教育委員会教育部生涯学習課
---------	------	-------	----------	-----	---------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への進捗度)	生涯学習事業は、教育委員会主催(学習の場の提供)と地域自治組織等が主催する地域計画に基づく生涯学習事業に区分される。 しかし、地域自治組織の「地域づくり計画書」の策定が進んでいないため地域自治組織主催の生涯学習事業に差が生じている。
課題	地域自治組織における「地域づくり計画書」の策定が必要である。
対策	地域自治組織における「地域づくり計画書」の作成は、協働まちづくり課が主体的に行うが、生涯学習課としても支援(指導・助言)を行う。

【評価結果】

総合評価	改善・見直し	今後の事業全体の方向性やその内容	地域自治組織が主体的に生涯学習事業を展開できる体制を構築する。
------	--------	------------------	---------------------------------

事務事業ID		2143		令和04年度		事務事業マネジメントシート		部長	課長	係長	担当者	
事務事業名		青少年育成市民会議団体支援事業				担当課	教育委員会子ども部子ども未来課					
政策体系	政策	2	豊かな心を育むまちづくり				担当係	企画管理係				
	施策	3	心を育む生涯学習の推進				事業期間	～				
	基本事業	1	学習機会の充実と成果の活用				事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
予算科目		会計	款	項	目	大事業						
		一般会計	10	1	2	青少年育成事業費						
						実施形態		直営				

【PLAN (計画)】

目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる								
		基本事業の目的	自発的学習活動する市民の増加を図るとともに、その成果をより良い地域社会づくりに活かせるよう、地域自治組織等関係団体との連携強化に努めます。また、市民の学習ニーズの多様化・高度化に対応するため、事業の充実に努めます。さらに、子どもから大人まですべての市民が読書に親しめるよう、多様な読書活動の支援に努めます。								
	中間	①対象 (誰、何に対して行うか)	(直接) 伊達市青少年育成市民会議 (間接) 市民 (18歳未満の青少年)	①意図 (どのようになることを目指すか)	市内すべての青少年が夢と希望をもって、心身ともに健やかに成長する。						
	初期	②①になるために必要な状態	市内すべての青少年の安全確保と健全育成のために、市民会議が中心となり、家庭・学校・地域と連携して青少年の健やかな成長に望ましい環境づくりに努め、各事業活動の推進を図る。								

区分	指標名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
				指標	アウトプット指標 事業実施回数	回	目標値	8	8
実績値	8	8	8				8	6	9
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								

【DO (実施)】

活動概要	事業概要	青少年問題の重要性と多様性にかんがみ、広く市民の総意を結集し、関係諸機関が連携を密にし、次代を担う青少年の健全な育成を図る。 青少年育成推進大会、立志式等を実施する。								
	主な活動	令和04年度実績 (実施した主な活動) ・市民会議の開催 (理事会 年2回・総会 1回) ※新型コロナウイルスの影響により、総会は書面開催。 ・少年の主張 (作文) 募集 (対象: 中学生) ・青少年育成推進大会の開催 (11月) 伊達市ふるさと会館 (参加者150名 内容: 市民会議表彰、少年の主張発表) ・立志を迎える中学2年生を対象とした立志式の開催 (1月) 内容は式典と文化庁の巡回公演事業を利用した芸術鑑賞会 (ナチュラルダンスアトルによる現代舞踊公演「さーかす」を鑑賞) ・子どもたちの豊かな人間性・社会性を育むことを目的に「伊達っ子の誓い」を制定								

【現状把握】

現状・インプット	事務事業を開始した理由	全国的に青少年を巡る問題が多くなる中、昭和50年代に活動が開始された。内閣府では、昭和53年から毎年11月を「全国青少年健全育成強調月間」と定めてきた。令和3年4月からは毎年11月を「子供・若者育成支援推進強調月間」とし、子供・若者育成支援に関する取組を国民運動として総合的に展開する契機としている。								
	根拠法令・要綱等	伊達市青少年育成市民会議規約	関連する個別計画	伊達市子ども・子育て支援事業計画						
	事務事業の現状 (「対象」など事業開始からの変化)	急速な少子化の進行や地域社会の変容、情報化社会の進展等、青少年を取り巻く環境は大きく変化している。そのため家庭・学校・地域が連携し、より一体となった子どもを育む取り組みが必要である。								
	事業費	財源内訳	年度単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (実績)	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	7,336	6,967	6,938	2,626	2,213	2,362		
	事業費計	千円	7,336	6,967	6,938	2,626	2,213	2,362		

事務事業 ID	2143	事務事業名	青少年育成市民会議団体支援事業	所属課	教育委員会子ども部子ども未来課
---------	------	-------	-----------------	-----	-----------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への進捗度)	青少年の安全確保と健全育成のために、市民会議が中心となり、家庭・学校・地域と連携して青少年の健やかな成長に望ましい環境づくりに努めた。
課題	青少年が各地域の事業に積極的に参加できるための体制づくりが必要。 市民会議と各地域協議会との共有及び連携の強化が必要。 各地域の状況(子どもの数や学校との関係など)にあわせた取組の推進や支援が必要。 立志式の実施の在り方について検討が必要。
対策	各地域協議会をはじめ、学校等との連携を図りながら地域の事業へ活動の輪を広げる。

【評価結果】

総合評価	改善・見直し	今後の事業全体の方向性やその内容	引続き市内すべての青少年が夢と希望をもって、心身ともに健やかに成長できる環境をつくる。 今後は予算制約が増す見込みであるため、事業実施にあたっては特定財源の確保や内容の見直し等が必要である。
------	--------	------------------	--

事務事業ID	2369	令和04年度	事務事業マネジメントシート				部長	課長	係長	担当者

事務事業名	スポーツ振興事業				担当課	教育委員会教育部生涯学習課					
政策体系	政策	2	豊かな心を育むまちづくり			担当係	生涯学習スポーツ係				
	施策	3	心を育む生涯学習の推進			事業期間	平成27年度 ~				
	基本事業	2	スポーツ・レクリエーションの振興				市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
予算科目	会計	款	項	目	事業区分	実施形態		直営			
	一般会計	10	6	1		大事業 保健体育総務費					

【PLAN (計画)】

目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる							
		基本事業の目的	スポーツ活動の普及と促進に努めます。さらに、競技力の向上を図るため各種事業への支援を行うとともに、市民がより良い環境のもとでスポーツ活動に取り組めるよう、施設の整備充実に努めます。							
	中間	①対象 (誰、何に対して行うか)	市民	①意図 (どのようになることを目指すか)	市民がスポーツに親しむことで、健康で豊かな暮らしができる社会を実現する。					
	初期	②①になるために必要な状態	市民がスポーツ活動を行うことにより、健康増進、体力向上につながっている。							

区分	指標名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
				指標	活動指標	スポーツ施設利用人数	人	目標値	220,000	230,000
実績値	177,799	187,508	168,148					121,944	190,986	195,740
目標値										
実績値										
実績値										

【DO (実施)】

活動・アウトプット	事業概要	市民がスポーツに親しみ、健康で豊かな暮らしができる社会を実現するため、市で実施していたスポーツ事業を伊達市スポーツ振興公社に委託する。								
	主な活動	令和04年度実績 (実施した主な活動) 総合型地域スポーツクラブ事業業務委託 (ジュニア世代を対象とし、スポーツを始めるきっかけを提供) 教室事業 (5教室各16回実施)、イベント事業・体験事業の実施 スポーツ事業補助金の交付 (スポーツ少年団本部、伊達市スポーツ協会) 各種登録事務、所属スポーツ団体等への支援等 法人管理事業補助金の交付 評議会・理事会の開催、出資金の管理・運用等の事務 労務管理、職員採用試験の実施等								

【現状把握】

現状・インプット	事務事業を開始した理由	平成27年より市で実施していたスポーツ事業を伊達市スポーツ振興公社に委託する。								
	根拠法令・要綱等				関連する個別計画					
	事務事業の現状 (「対象」など事業開始からの変化)	市民が気軽にスポーツ活動等に参加できる状況にある。								
	事業費	財源内訳	年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
単位			(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)		
国庫支出金			千円	0	0	0	0	0	0	
都道府県支出金			千円	0	0	0	0	0	0	
地方債			千円	0	0	0	0	0	0	
その他			千円	0	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	10,865	11,518	14,879	11,873	10,717	0			
事業費計	千円	10,865	11,518	14,879	11,873	10,717	0			

事務事業 ID	2369	事務事業名	スポーツ振興事業	所属課	教育委員会教育部生涯学習課
---------	------	-------	----------	-----	---------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への進捗度)	伊達市総合型地域スポーツクラブ事業をきっかけに、市民が一人一スポーツに親しむ環境を整備し、健康で豊かな暮らしを目指していくために必要な事業である。
課題	伊達市総合型地域スポーツクラブについて、令和4年度から6年度までの3年間はジュニア世代を対象としていることから、段階的に対象年齢を拡大していく必要がある。また、市民がいつでもどこでも気軽にスポーツに親しみむことができるスポーツ環境の整備を図っていく。
対策	伊達市総合型地域スポーツクラブ事業のPR・スポーツ教室の充実 社会体育施設の有効活用・維持管理 スポーツ少年団、各種団体への支援の拡大(各種研修会等の開催)

【評価結果】

総合評価	維持	今後の事業全体の方向性やその内容	伊達市スポーツ振興公社が担うソフト事業の展開は、伊達市のスポーツ振興において重要な役割を担っているため、継続した事業展開が必要である。
------	----	------------------	---

事務事業ID				部長	課長	係長	担当者
1494							
令和04年度 事務事業マネジメントシート							
事務事業名		スポーツ全国大会等参加奨励事業			担当課	教育委員会教育部生涯学習課	
政策体系	政策	2	豊かな心を育むまちづくり		担当係	生涯学習スポーツ係	
	施策	3	心を育む生涯学習の推進		事業期間	～	
	基本事業	2	スポーツ・レクリエーションの振興		事業区分	市単独事業・国県補助事業	市単独事業
予算科目		会計	款	項	目	大	事業
		一般会計	10	6	1	保健体育総務費	
				実施形態	直営		

【PLAN（計画）】

目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる				
		基本事業の目的	スポーツ活動の普及と促進に努めます。さらに、競技力の向上を図るため各種事業への支援を行うとともに、市民がより良い環境のもとでスポーツ活動に取り組めるよう、施設の整備充実に努めます。				
	中間	①対象（誰、何に対して行うか）	市民	①意図（どのようになることを目指すか）	市民の競技力が向上し、トップアスリートが育成される。		
	初期	②①になるために必要な状態	市民がより高い意識を持ちスポーツに取り組むことができるよう、競技力向上を推進するための環境づくりをしている。				

区分	指標名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
指標	アウトプット指標	スポーツ全国大会等 参加件数	件	目標値	65	65	65	65	65	65
				実績値	73	48	38	5	14	40
				目標値						
				実績値						
				目標値						

【DO（実施）】

活動・アウトプット	事業概要	スポーツの全国大会出場者に対して奨励金を交付し、スポーツ振興及び技術の向上を推進する。	
	主な活動	令和04年度実績（実施した主な活動） 全国大会へ出場する選手、高等学校などの団体への奨励金交付事務	

【現状把握】

現状・インプット	事務事業を開始した理由	スポーツ振興および技術の向上を推進するため、合併以前から旧5町において全国大会等の出場者に対して奨励金交付を行っている。						
	根拠法令・要綱等	関連する個別計画						
	事務事業の現状（「対象」など事業開始からの変化）	伊達市における全国大会出場者は、スポーツ人口の減少とともに年々減少傾向にあると思われる。						
	事業費	財源内訳	年度単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (実績)
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	8,045	4,803	1,510	210	1,400	1,500
	事業費計	千円	8,045	4,803	1,510	210	1,400	1,500

事務事業 ID	1494	事務事業 名	スポーツ全国大会等参加奨励事業	所属 課	教育委員会教育部生涯学習課
------------	------	-----------	-----------------	---------	---------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への 進捗度)	スポーツ全国大会出場者への激励金は、スポーツ振興および技術の向上を推進するうえで必要な事業である。
課 題	伊達市出身の選手が全国大会等で活躍できるよう、スポーツの振興及びスポーツ環境の整備に取り組む必要がある。
対 策	各種事業への支援を行うとともに、全国レベルのアスリートを育成できる指導者の育成や組織などを整備していく。

【評価結果】

総合評価	維持	今後の事業全体の方向性やその内容	スポーツ全国大会出場者に対するの激励金は、伊達市のアスリートにとって栄誉なことであり目標である。全国大会への出場は市内スポーツの競技力向上と普及促進につながるものであるため必要な事業である。
------	----	------------------	---

事務事業ID				部長	課長	係長	担当者
1495							
令和04年度 事務事業マネジメントシート							
事務事業名				担当課	教育委員会教育部生涯学習課		
政策体系	政策	2	豊かな心を育むまちづくり	担当係	生涯学習スポーツ係		
	施策	3	心を育む生涯学習の推進	事業期間		~	
	基本事業	2	スポーツ・レクリエーションの振興	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業
予算科目		会計	款	項	目	大事業	
		一般会計	10	6	1	保健体育総務費	
				実施形態	直営		

【PLAN (計画)】

目指すべき状態・アウトカム	最終	施策の目的	自ら積極的に学び、活動し、生きがいを持って充実した生活を送ることができる				
		基本事業の目的	スポーツ活動の普及と促進に努めます。さらに、競技力の向上を図るため各種事業への支援を行うとともに、市民がより良い環境のもとでスポーツ活動に取り組めるよう、施設の整備充実に努めます。				
	中間	①対象 (誰、何に対して行うか)	市民	①意図 (どのようになることを目指すか)	市民が積極的にスポーツ、レクリエーション活動に参加し、心身共に健康な市民生活を送る。		
	初期	②①になるために必要な状態	スポーツ、レクリエーション活動に参加する市民が増加している				

区分	指標名 (意図の達成度を表す指標)	単位	数値区分	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
指標	アウトプット指標	補助団体数	団体	目標値	8	8	8	8	8
				実績値	8	8	8	3	8

【DO (実施)】

活動・アウトプット	事業概要	市民のスポーツ意欲向上や健康増進に寄与する各種大会（伊達ももの里マラソン大会、三浦弥平ロードレース大会、チャレンジデー）等への補助を行っている。				
	主な活動	令和04年度実績（実施した主な活動） スポーツ団体（大会）への補助金の交付。（伊達ももの里マラソン大会、ふくしま駅伝大会等） 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止・規模縮小となった大会があった。				

【現状把握】

現状・インプット	事務事業を開始した理由		市内で活動している団体が大会等を開催する事業に補助金を支出する。						
	根拠法令・要綱等		関連する個別計画						
	事務事業の現状（「対象」など事業開始からの変化）		スポーツ人口及び団体は減少傾向にある。						
	事業費	財源内訳	年度	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
単位			(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	
国庫支出金			千円	0	0	0	0	0	0
都道府県支出金			千円	0	0	0	0	0	0
地方債			千円	0	0	0	0	0	0
その他			千円	0	0	0	0	0	0
一般財源	千円	7,970	7,970	7,970	1,919	5,250	5,250		
事業費計		千円	7,970	7,970	7,970	1,919	5,250	5,250	

事務事業 ID	1495	事務事業名	スポーツ団体等活動支援事業	所属課	教育委員会教育部生涯学習課
---------	------	-------	---------------	-----	---------------

【CHECK/ACTION（振り返り評価・改革改善策）】

事業の評価 (目指すべき状態への進捗度)	すべての市民が心身共に健康な市民生活を送れるよう、気軽にスポーツやレクリエーション活動に参加できる環境が整いつつある
課題	時代のニーズに対応し、多種多様な活動に対し補助していく必要がある
対策	補助団体の支出項目の指導、補助金額の見直し

【評価結果】

総合評価	維持	今後の事業全体の方向性やその内容	伊達市主要大会(伊達ももの里マラソン大会、ふくしま駅伝大会)への補助を行うことは、市民の健康志向の醸成に必要なものである。持続可能な大会とするためには、支出の見直し、経費削減を行いながら大会を維持していく。
------	----	------------------	---